

平成29年死亡災害一覧表 (平成30年4月10日確定)

件数	災害発生		業種		事故の型	起因物		発生状況概要
	月	時間	大分類	小分類	分類項目	大分類	小分類	
1	2月	9時台	建設業	木造家屋建築工事業	墜落・転落	その他の装置等	はしご等	個人住宅のバルコニー保全工事のため、脚立を伸ばしてはしご状にし、片手にシートを持って当該はしごを昇降中、約2.3メートルの高さから床に後ろ向きに転落して頭部を強打した。
2	2月	11時台	建設業	建築設備工事	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	屋根、はり、もや、けた、合掌	鉄筋コンクリート造り住宅の屋上において、テレビケーブルの取替作業をするため、新しいケーブルを引っ張っていたところ、約1.4メートル下の地面に墜落した。
3	2月	14時台	製造業	その他の金属製品製造業	激突され	物質・材料	金属材料	屋外でスクラップとなった移動式クレーンの解体でガス溶断作業をしていたところ、溶断した部材が被災者の方向に倒れて、その下敷きとなった。
4	2月	9時台	建設業	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	足場	工事現場において、建屋内部に設置した2つのローリングタワーの間に、鋼製の作業床3枚を架け渡して作業床を敷き詰める作業中、高さ約5メートルの作業場所から地上に墜落した。
5	3月	14時台	建設業	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	建築物・構築物	施設解体工事において、建屋最上階で床の解体作業中、プレスに引っかかっていた解体物の破片を落とそうとしたところ、当該床の端から約1.5メートル下の中間層に墜落した。
6	3月	15時台	製造業	その他の電気機械器具製造業	交通事故(道路)	物上げ装置・運搬機械	トラック	労働者を送迎するため、自動車で県道を走行中、前方から来たトレーラーの荷台から積荷のクレーンのカウンターウェイトを固定しているワイヤロープが切れて落下し、被災者運転の自動車に激突した。
7	4月	7時台	接客娯楽業	ゴルフ場業	はさまれ・巻き込まれ	動力機械	その他の一般動力機械	芝刈りカートの運転を練習するため、指導員の軽トラックの後方を芝刈りカートに乗って追走中、被災者が到着しないことから、南コースまで戻ったところ、芝刈りカートの下敷きになって倒れている被災者が発見された。
8	4月	16時台	運輸交通業	一般貨物自動車運送業	はさまれ・巻き込まれ	物上げ装置・運搬機械	トラック	廃材ヤードで10トンダンプトラックの荷台に積んでいたアスファルト等の廃材をダンプして覆すため、荷台を上げエンジンを掛けた状態で車輪止めをしないまま運転位置から離れたところ、無人のダンプトラックが同ヤードから下り勾配方向(勾配約5~10度)に動きだし、逸走した当該トラックに轢かれた。
9	4月	16時台	建設業	機械器具設置工事業	おぼれ	環境等	水	ため池に単管とクランプで組み立てられて設置された仮設ステージのクランプを調整中、ため池に沈んでいる被災者が発見された。
10	2月	11時台	製造業	機械(精密機械を除く)器具製造業	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	階段、棧橋	旋盤で加工する材料を取りに工場の2階から1階に向かう途中の階段で、最上段から2段目の場所から1階床まで高さ約3m転落し、入院加療先で約2ヶ月後に死亡した。
11	4月	14時台	建設業	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	転倒	物上げ装置・運搬機械	フォークリフト	工場の解体工事現場において、5階フロアでフォークリフトを運転して外部足場の部材を運搬中、フォークリフトの下敷きとなった被災者が発見され、病院に搬送されたが同日に死亡が確認された。
12	1月	5時台	貨物取扱業	一般港湾荷役業	おぼれ	物上げ装置・運搬機械	その他の乗物	被災者一人で港に舢(はしけ)を入港させる際、曳航ロープを短くする準備作業のためデッキ上を移動中に海に転落して行方不明となった。 災害発生後、捜索されるも発見されず、5月6日に播磨灘で漂流する遺体が発見され、身元が確認された。
13	6月	11時台	建設業	河川土木工事業	墜落・転落	環境等	地山、岩石	川床から高さ3.5メートルまで勾配6.5度の護岸下部の上部に高さ2.7メートルの最上部まで整形された勾配3.5度の護岸上部に芝を張る作業中、傾斜地に足がかりをとるための設備を設置しようとして川床まで墜落した。
14	6月	22時台	製造業	その他の金属製品製造業	激突され	動力機械	その他の一般動力機械	ワイヤロープを加工するための設備でワイヤロープに張力をかけていたところ、ワイヤロープが滑って撓んだ瞬間に跳ね上がったため、傍にいた被災者が弾かれた。

平成29年死亡災害一覧表 (平成30年4月10日確定)

件数	災害発生		業種		事故の型	起因物		発生状況概要
	月	時間	大分類	小分類	分類項目	大分類	小分類	
15	6月	3時台	交通運輸業	一般貨物自動車運送業	交通事故(道路)	物上げ装置・運搬機械	トラック	トラックで深夜の高速道路を取引先に鋼材を輸送するために走行中、中央分離帯のガードレールに接触しながら対向車線に飛び出して仰向けの状態となり、救急搬送されたが病院で死亡が確認された。同乗者なし、他者との接触もなかった。
16	7月	11時台	製造業	その他の食料品製造業	有害物との接触	物質・材料	有害物	貯油タンク内部に残留した固形油の除去作業で、タンク上部のマンホールから内部に入ったところ、タンク内部に窒素ガスが充填されていたため、酸欠となりタンク底部で倒れた。
17	7月	1時台	建設業	電気通信工事業	交通事故(道路)	物上げ装置・運搬機械	トラック	高速道路の電気設備保全管理工事で、走行車線約1.45 Kmの車線規制を行うため、発煙筒、点滅灯、カラーコーン等を順次設置していたところ、規制作業中の車線を走行してきた2トントラックが4トントラックの標識車に激突して現場管理員の被災者が当該標識車に激突されて死亡した。
18	7月	15時台	その他の事業	警備業	高温・低温物との接触	環境等	高温・低温環境	被災者は、宅地造成工事現場の警備業務に従事していた。当日の現場作業終了後、工事関係者が現場の片付けを行っていたとき、被災者が体調不良となったため、救急車で病院へ搬送したが、翌日搬送先の病院において、熱中症による多臓器不全により死亡した。
19	6月	9時台	交通運輸業	一般貨物自動車運送業	交通事故(道路)	物上げ装置・運搬機械	トラック	鈴鹿でトラックに荷物を積み込み、大阪方面に向かって名阪国道下り線を走行中、被災者の運転するトラックがガードレールに激突した後、7メートル下の山林に転落した。災害発生現場は緩やかなカーブの下り坂が続く場所であった。
20	8月	18時台	建設業	河川土木工事業	交通事故(道路)	物上げ装置・運搬機械	トラック	被災者が業務を終えて1人でトラックを運転して事務所に戻る際に予定時刻を過ぎても事務所へ戻らないため、代表者等が作業場所へ確認しに行ったところ、作業場所付近の道路上で被災者が運転していたトラックがガードレールに沿って停車しており、被災者がガードレール側に倒れていた。ガードレールにはトラックが接触した痕跡があり、被災者の衣類にもガードレールによる擦過痕が認められた。
21	8月	15時台	製造業	重電機製造業	挟まれ・巻き込まれ	動力機械	ロール機(印刷ロール機を除く)	ロール機の清掃作業中、労働者2人でローラー部をウエスで拭き取っていたところ、ロール機の前面で拭き取り作業をしていた被災者が右肩まで巻き込まれ、2日後に死亡した。
22	4月	15時台	建設業	木造家屋建築工事業	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	その他の仮設物、建築物、構築物	建築物解体工事中において、単管、緊結金具、ベース金具及び防音シートで構成された仮設養生の解体作業に従事していた被災者が、高さ5.3メートルの単管の水平材上から墜落、加療中であったが災害から半年後に死亡した。
23	8月	0時台	製造業	機械(精密機械を除く)器具製造業	墜落・転落	物上げ装置・運搬機械	クレーン	同僚との共同作業が終了した後、一人で無線操作方式の天井クレーンを運転して次の作業を行う箇所へ向かった。その後、休憩時間になっても戻ってこなかった様子を見に行った同僚が、天井クレーン下に倒れている被災者を発見した。天井クレーンの歩道上に被災者の所持品が置かれていたことから、天井クレーン上から墜落したと推定される。
24	11月	7時台	その他の事業	警備業	激突され	物上げ装置・運搬機械	トラック	事業場の倉庫前面の公共バスにおいて、貨物搬入待ちのトラック1台を被災者(警備員)が誘導していたところ、トラックの左前部が被災者に接触し、その際に押し倒されるようにしてトラック左前輪でひかれて被災した。
25	11月	12時台	製造業	その他の製造業・その他	挟まれ・巻き込まれ	動力機械	混合機、粉砕器	有機肥料を製造するプラントの運転を行っていた被災者が、原料投入口(ホッパー)の下部に設置されているシャフトに挟まれた状態で発見された。
26	12月	9時台	建設業	電気通信工事業	感電	その他の装置等	電力設備	変電所の変圧器室にある設備の取替え工事が完了したため、室内壁面から一時的に取り外していた吸音材を再び取り付ける際に変圧器の6,600ボルトの充電電路部に身体が接触して感電し、救急搬送されたが翌朝病院で死亡が確認された。

平成29年死亡災害一覧表 (平成30年4月10日確定)

件数	災害発生		業種		事故の型	起因物		発生状況概要
	月	時間	大分類	小分類	分類項目	大分類	小分類	
27	12月	12時台	交通運輸業	一般貨物自動車運送業	墜落・転落	物上げ装置・運搬機械	トラック	停車したタンクローリー車内で休憩中、車輛が動き出し9.3メートル路上を走行した後、海に転落し、海中から救出されたが死亡が確認された。
28	12月	16時台	建設業	その他の建築工事業	転倒	仮設物・建築物・構築物等	建築物・構築物	事業場倉庫付近の側溝を流れる水を利用するために側溝の中に入って工具を洗浄中、被災者の姿が見えなくなったため、事業主が探していたところ、8m離れた下流の側溝で、うつ伏せで倒れている被災者を発見した。
29	7月	2時台	商業	その他の卸売業	その他	その他	起因物なし	自宅の布団上で心肺停止状態の被災者を妻が発見し、救急搬送されるも死亡が確認された。 被災者は青果卸売を行う当該事業場において仕分・配送業務を行っていた。
30	2月	4時台	その他の事業	警備業	その他	その他	起因物なし	1時間ごとに1回、トンネル内を車で巡回する夜間の警備業務中に、車内で待機していた被災者が、翌朝、死亡した状態で発見された。